教科	芸術	科目	音楽 I	単位	数	2		
年組	1年1, 2, 3組		教科書(発行所)				М	OUSA I (教育芸術社)
月	学習内容		学習の具体的な内容	•	評価知	西の行思	観点 態	項目
	ポピュラー・ソング		○校歌		0		0	学習の目標
4			○翼をください		0		0	于日 少 日採
؍ ا			○若者のすべて		0		0	
/	TE W. a stepte				0		0	│ │ 歌唱、器楽、創作及び鑑賞についての
5	西洋の音楽		O sole mio		0	0		幅広い活動を展開し、創造的な表現と 鑑賞の能力を伸ばすことをねらいとし、
J						0		「音楽 II」「総合音楽」における発展的な 学習の基礎を養う。また、我が国及び諸
/			○Caro mio ben					外国の様々な音楽文化についての理解
					0		0	を深める。
6	鑑賞		○モーツァルトの生涯と作品		0		0	
О					0	0		授業の進め方
					0	0		技术の進め方
7					0		0	
			O D I o P (de de Vite		1		_	
7	日本の音楽		○日本の伝統音楽		0	0	0	中学校での学習内容を踏まえ、表現領域 を「歌唱」「器楽」「創作」の三分野で構成
'						0		し、表現領域全体を通じて創造的な表現力 を高める。音楽に対する創造的な理解を深
8 • 9								める観点から、表現領域の全ての分野と鑑 賞領域を学習する。
	器楽		○篠笛		0	0		
0					0	0		
9					0		0	学習の方法
	西洋の音楽		○Heidenröslein		0	0		于自切力点
/			Olch liebe dich		0	0		
						0	0	原告へは立まなかまた。) マヤサイ
10	<i>∆</i> 11 <i>If</i> -		○ナノート。**リアトフ会川ケ		0	0		鑑賞では楽曲や演奏について根拠を 持って批評する活動を取り入れ、言語活
/	創作		○オノマトペによる創作			0	0	動の充実を図る。歌唱では楽曲の雰囲 気を味わうために伴奏譜のついた楽譜
			○「コード進行」をもとに創作			0		を使用し、和声の変化を感じ取る。学習 プリントを用いて授業を進める。
11						0	0	フラン T E/IIV で以来と述める。
						0	0	
/						0	0	評価の観点
12						\circ	0	DI IMIAN BYLYK
	A n0				1			1 知識・技能 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などと
12	合唱		○言わない			0	0	の関わり及び音楽の多様性を理解している。 創 意工夫を生かした音楽表現をするために必要な
12						0	0	技能を身に付けている。 2 思考・判断・表現
	歌唱		○卒業式の歌			0	0	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを甘受しながら、知覚したこととの関わりについて
1						0	0	考え、どのように表すかについて表現意図をもってたり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わったがない。
			○この道		0	0		たり聴いたりしている。 3 主体的に学習に取り組む態度
/					0	0		主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に 取り組もうとしている。
					0	0		評価の方法
2						0	0	MI III AV 75 Jan
/ ا						0	0	
\vee								 1 課題・学習プリント
3	1年間のまとめ		1年間の取り扱った教材			0		2 平常考査 3 平常学習態度
【備者			* 1 P9**********************************				<u> </u>	4 実技
	・ 評価の観点は愛媛県県立学校評価の手引(愛	&媛県教	育委員会)による。					5 出席状況

教科	芸術	科目	美術 I	単	位数	2		
年組	1年1・2・3組	•	教科書(発行所)		•	-	高校/	生の美術1(日本文教出版)
月	学習内容		学習の具体的な内容			平価の		
	オリエンテーション		美術とは何か			С		学習の目標
4	絵画		鉛筆デッサン①					
/	デザイン		鉛筆デッサン②③ 色彩 三原色 三属性					
	7 9 1 2		配色		'			幅広い美術の制作や鑑賞を通して、自
5								分だけのものの見方で世界を見つめ、
	デザイン		いろいろな絵の具			С		「自分なりの答え」を生み出し、それを他 人と共有して、新たな問いを生み出す
			アクリル絵の具の可能性		(C		力を養います。
			平面構成			С		
6						С		
	鑑賞		作品鑑賞					授業の進め方
7	與							
						ļ	<u> </u>	
	絵画		創造を形に			С	0	- アイデアスケッチや考えた過程を大切にして
7			読書感想画 アイデアスケッチ			С	0	いるので、ワークシートを重要視しています。各課題では、まずワークシートを描き、
						С		その後制作し、できあがった作品をクラスの 全員で鑑賞します。
8.9			読書感想画下描き 読書感想画着色			С		
			武音悠悠回有已					
9								
						С		学習の方法
	鑑賞		作品鑑賞			С	0	
	彫刻		立体表現の魅力			C		
10			塑像で表す アイデアスケッチ			С	-	突然自分だけの表現をすることは、とて も難しいので、制作に入る前に、たくさ
/			塑像で表す 制作					んの資料を準備しましょう。そこから自分の考えを深め、自分だけの表現活動へ
			空豚(衣り 門下					つなげていきます。普段生活する上で も興味のアンテナを広げましょう。
11))		の発外のアクテアを出げましょう。
	鑑賞		作品鑑賞			С	0	
/			作品鑑賞			С	0	評価の観点
12								M.I. Ibert. s. Martin
	鑑賞		日本美術			С		-
12	絵画		屏風 アイデアスケッチ			C		授業態度や感想の記述で、主体的に学習に取り組む態度を評価します。各課
						С	0	題の前に先生から説明される作品の解説や、表現技法を理解できているかで、
						С		知識・技能を評価します。制作前に描く
1			屏風 着色			\supset		アイデアスケッチで、思考・判断・表現を 評価します。
/								
2						5		評価の方法
						5		
								1 課題・学習プリント
3	鑑賞		作品鑑賞			С		2 平常学習態度 3 実技
[z.1		作品鑑賞			С		4 出席状況
【備ネ	写】 評価の観点は愛媛県県立学校評価の手引(愛	受機 目 数:	奇禿昌仝)による					
	pri pag // Pyg/Misタ/X/ハハエデス肝間ツデリ(3	~//×/154%	11 × MA/1-0.00					

教科	芸術	科目	音楽Ⅱ	単位数	(2		
年組	2年 1・2組		教科書(発行所)				M	OUSAⅡ(教育芸術社)
月	学習内容		学習の具体的な内容		評価知	田の祖 思	観点態	項目
	ポップス		○Prelude I		0			学習の目標
4					0			
/			○ハナミズキ		0		0	┃ ┃ ┃「音楽 I 」の学習を基礎にして、個々
	日本の歌曲		○浜辺の歌			0	0	の能力・適性、興味・関心等に応じた活動を展開し、個性豊かな表現の能力と
5						_	_	主体的な鑑賞の能力を伸ばすことをねらいとする。文化的・歴史的背景などの
/	器楽アンサンブル		○ギター			0	_	広い視野をもって音楽に目を向け、個 性的・主体的な活動を充実し、音楽文化
	III ACA CA A CA A CA A CA CA CA CA CA CA CA		○上を向いて歩こう		0			の理解を深める。
6					0			
					0			授業の進め方
7					0			
							l	
	創作		○演奏スタイルの変化		0			グループごとに関心や能力に応じた楽曲
7					0			を選択してアンサンブルを行う。 創作については音の組合わせ方などを自らが見つけよ
8 • 9					0			うとするなど、生徒の創意工夫を一層重視し た学習を行う。
					0			
9					0			
	鑑賞		○レ・ミゼラブル		0			学習の方法
/	塩 貝		00.567770			0		
10	合唱		○夢やぶれて		0		0	首栄衣現にといよりは効果を生み出してい
/					0			るかを話し合うなどして、主体的な鑑賞の活動にする。感じ取ったことを基にして、作詞
					0		0	者や作曲者の意図を考えながら解釈し、それを他者と伝え合うことによって楽曲固有の表情や味わいに対する理解を深める。
11	日本の音楽		○人形浄瑠璃		0			THE CAMPACTURE OF THE PROPERTY OF
/					0			
12					0			評価の観点
	<u> </u>					<u> </u>	<u> </u>	1 知識·技能
	器楽		○篠笛		0			曲想と音楽の構造や歌詞、楽器の音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果 について理解している。 曲想や表現上の効果と音楽の
12					0		0	構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解を深めている。
					0			2 思考・判断・表現 音楽を形づくる諸要素の働きを感受しながら、知覚した ことと感受したこととの関わりについて考え、どのように
1					0			音楽表現するかについて独自の表現意図をもっている。
/	ar/ +12				0			3 主体的に学習に取り組む態度 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組も うとしている。
Y	歌唱		○卒業式の歌		0	0		
2					0	0		評価の方法
					0	0		
ert								1 課題・学習プリント
3	1年間のまとめ		1年間の取り扱った教材		0	0	0	2 平常考査 3 平常学習態度
【備者								4 実技
*	評価の観点は愛媛県県立学校評価の手引(愛	媛県教	育委員会)による。					

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	汝			
年組	2年1・2組		教科書(発行所)					上の美術2(日本文教出版)
月	学習内容		学習の具体的な内容			価の観		項目
	オリエンテーション		表現とは何か 絵画の役割と写真の	の発明	_	0	0	学習の目標
4	絵画	ļ	水の演出 写実表現		0	0		V =
	絵画	ļ	水による演出 着色		0			
	1) 사고 IPI	Į	Wes and 4 o		0			幅広い美術の制作や鑑賞を通して、自
5		Į						分だけのものの見方で世界を見つめ、 「自分なりの答え」を生み出し、それを他
ا	鑑賞	ļ	作品鑑賞			0	0	人と共有して、新たな問いを生み出す 力を養います。
	絵画	ļ	奥行や空間を捉える 透視図法 アイデアスケッチ		0			刀を食v まり。
		Į	ディア デスグッナ 着色		0			
6		ļ	相已			0	0	
	鑑賞	ļ	作品鑑賞			0	0	授業の進め方
7						0	0	
<u> </u>	Т		Т					
7	鑑賞	Į	感覚の冒険			0		アイデアスケッチや考えた過程を大切にして いるので、ワークシートを重要視していま
	絵画	I	抽象画 アイデアスケッチ			0		す。各課題では、まずワークシートを描き、 その後制作し、できあがった作品をクラスの
8.9		ļ				0	0	全員で鑑賞します。
ľ		ļ	下描き		0			
9		I	スクラッチ		0			
		I	着色		0			学習の方法
	鑑賞	ļ	作品鑑賞			0	0	
		ļ	III Heroman			0	0	
10		ļ						突然自分だけの表現をすることは、とても難しいので、制作に入る前に、たくさ
ן ו	映像メディア表現	ļ	アニメーションで伝える		0			んの資料を準備しましょう。そこから自分の考えを深め、自分だけの表現活動へ
			コマ撮りアニメーション アイデアス 制作	ケッチ				つなげていきます。普段生活する上で
11		I	利作		0	0		も興味のアンテナを広げましょう。
		ļ	撮影		0			
		Į			0			評価の観点
12			作	品鑑賞	i i	0	0	11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11
\vdash	影刻		高村光太郎		$\overline{}$	0	0	
12	周5列	ļ	食品サンプル アイデアスケッチ			0		授業態度や感想の記述で、主体的に学習に取り組む態度を評価します。各課
		ļ				0	0	質に取り組む態度を評価しより。合業 題の前に先生から説明される作品の解 説や、表現技法を理解できているかで、
\Box		ļ				0	0	知識・技能を評価します。制作前に描く
1		ļ	制作		0	0		アイデアスケッチで、思考・判断・表現を 評価します。
		ļ			0	0		
		ļ	彫刻		0	0		
2		ļ			0	0		評価の方法
		I	ケース制作		0	0		
		ļ						
,		ļ						1 課題・学習プリント
3	鑑賞	I	作品鑑賞		0	0	0	2 平常学習態度3 実技
【備考		!	ITHAE.S.			\cup	\cup	4 出席状況
*	評価の観点は愛媛県県立学校評価の手引(愛	&媛県教	育委員会)による。					

教科	芸術	科目	音楽Ⅲ	単位数		2		
年組	3年 2組		教科書(発行所)				Joy	of Music(教育芸術社)
月	学習内容		学習の具体的な内容		評価知	田の智思	観点態	項目
	ソルフェージュ		○ソルフェージュ		0	0		学習の目標
4					0	0		. = 0 - 1 /2
/					0	0		
	外国の歌曲		○イタリア歌曲		0		0	「音楽 I 」及び「音楽 II 」の学習を基礎にして、更に生徒の資質・能力、適性、
5					0		0	興味・関心等に応じた活動を展開し、生活や社会の中の多様な音や音楽、音楽
/					0			文化と深く関わる資質・能力を育成することをねらいとする。
	器楽		○ギター		0	0	0	CC24300C930
	加木					0	0	
6						0	0	授業の進め方
	1学期のまとめ		○実技表現テスト			0	0	技术の進め力
7						0	0	
	鑑賞		○ショパンの生涯と作品			0	0	 歌唱や器楽、創作では、グループワークを多く取り入 れ、互いに聴き合ったり、意見を交換したりして、音楽を
7						0		形づくっている要素を知覚し、諸要素の働かせ方など を試行錯誤しながら、個性豊かに音楽表現を工夫する
						0	0	活動を行う。また、鑑賞においても、グループワークを 多く取り入れることで、曲の表現内容やさまざまな表現 形態による演奏表現の固有性や多様性及び曲や演奏
8 • 9	* W +					0	_	することと、生活や社会との関わりについて考えを述べ 合い、理解する活動を行う。
	音楽史		○ロマン派の音楽		0		0	
9	世界の諸民族の音楽		○諸民族の音楽		0		0	*****
					0		0	学習の方法
	器楽		○篠笛			0	0	
10						0	0	
10	西洋の音楽		○ドイツ歌曲		0			上記の「授業の進み方」に従い学習していくが、生徒の特性を十分に考慮して
					0		0	授業を行う。また、音楽系の進学希望者 の進路実現のために進学希望先の内容
	創作				0		0	に即した実技、授業を行う。
11	2学期のまとめ		○実技表現テスト		0	0	0	
/	2 丁汐]vノよこvノ		()关议及死/八下			0	0	
12						0	0	評価の観点
			O deally to a my		ı	_	_	1 知識・技能 曲の表現内容について理解している。創意工夫
12	歌唱		○卒業式の歌			0	0	や表現上の効果を生かした表現をするために必要な技能を身に付け、音楽表現で表している。
12						0	0	2 思考・判断・表現 音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、 形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しなが
						0	0	ら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、さまざまな知識や技能を関連させなが
1	Common N. N. N.					0	0	ら、どのように表現するかについて独自の表現意 図をもっている。
/	1年間のまとめ		○実技表現テスト		0	0		3 主体的に学習に取り組む態度 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に 取り組もうとしている。
2								評価の方法
/								
								1 課題・学習プリント
3								2 平常考査 3 平常学習態度
【備考	[]		1					4 実技 5 出席状況
*	評価の観点は愛媛県県立学校評価の手引(愛	愛媛県教	育委員会)による。					
								l .

教科	芸術	科目	音楽表現	单	单位数		2		
年組	3年2組		教科書(発行所)						楽通論(教育芸術社)
月	学習内容		学習の具体的な内容			評価知	田の御思	観点 態	項目
	楽典		○楽典						学習の目標
4									
/									
	ソルフェージュ		○譜表、リズムと拍子						 音楽に関する専門的な学習を通して,
5									音楽的な見方・考え方を働かせ、 音楽や音楽文化と創造的に関わる資
/			○聴音、楽典						質・能力を育成する。
6									
									授業の進め方
7									
						1			音楽を形づくっている要素を知覚・感受し
			○音程と音階、和音、表示法						理解させ、音楽の構造を把握し、作曲者などの意図を探り楽曲の良さを見つけさせる。
7			○形式、聴音、楽典						アンサンブル、合唱などの表現形態にふさ わしい表現の仕方や楽曲の持ち味を大切
8 • 9			○形式、聴音、楽典						にした表現を工夫し、よりよい表現を追求させる。表現意図をもって創造的に演奏でき
	器楽演奏		○個人別課題						るようにする。
9			○個人別課題						
9			○個人別課題						学習の方法
			○個人別課題						于自60万瓜
/			○個人別課題						
10			○個人別課題						一人ひとりに応じた多様な活動を設定す
			○個人別課題						る。器楽・歌唱では個々の生徒の特性やグ ループの規模・形態等に合った教材を生徒
/			○個人別課題						に選択させ、個性的・創造的な活動が出来 るようにする。生徒が主体的に課題に取り組
									む活動を重視する。音楽の構造上の特徴と 美しさの関わりを理解して鑑賞する。
11			○個人別課題						
			○個人別課題						
,,			○個人別課題						評価の観点
12									1 知識・技能
	器楽演奏		○個人別課題						曲の表現内容について理解している。創意工夫 や表現上の効果を生かした表現をするために必
12			○個人別課題						要な技能を身に付け、音楽表現で表している。 2 思考・判断・表現
									音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、 形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しなが
			○個人別課題						ら、知覚したことと感受したこととの関わりについ て考え、さまざまな知識や技能を関連させなが
1			○個人別課題						ら、どのように表現するかについて独自の表現意 図をもっている。
ر ا			○個人別課題						3 主体的に学習に取り組む態度 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に
									取り組もうとしている。
2									評価の方法
1									
/									
									1 課題・学習プリント
3									2 平常考査 3 平常学習態度
【備者	÷]		•			•	•	•	4 実技 5 出席状況
*	評価の観点は愛媛県県立学校評価の手引(愛	媛県教	育委員会)による。						

教科	芸術	科目	美術Ⅲ	単位数	Ź	2		
年組	3年 2組		教科書(発行所)					Eの美術3(日本文教出版)
月	学習内容		学習の具体的な内容		評価知	西の智 思	観点 態	項目
4	オリエンテーション 絵画		美しいとは何か 名画から受けるインスピレーション 模写		0 0	0 0	0	学習の目標
5	鑑賞 デザイン		額の制作 作品鑑賞 包装紙を作る 制作		0 0 0	0 0 0 0	0	幅広い美術の制作や鑑賞を通して、自分だけのものの見方で世界を見つめ、「自分なりの答え」を生み出し、それを他人と共有して、新たな問いを生み出す力を養います。
7	鑑賞		作品鑑賞		0	0	0	授業の進め方
	L				1			
7 8•9			版画 アイデアスケッチ 下描き 転写 彫り		0	0	0	アイデアスケッチや考えた過程を大切にしているので、ワークシートを重要視しています。各課題では、まずワークシートを描き、その後制作し、できあがった作品をクラスの全員で鑑賞します。
9					0 0			学習の方法
/			刷り 		0 0			V II 777/II
10	鑑賞デザイン		作品鑑賞 情報の視覚化 アイデアスケッチ 制作			0 0 0 0	0	突然自分だけの表現をすることは、とても難しいので、制作に入る前に、たくさんの資料を準備しましょう。そこから自分の考えを深め、自分だけの表現活動へつなげていきます。普段生活する上でも興味のアンテナを広げましょう。
11						0	0	
12								評価の観点
	鑑賞デザイン		作品鑑賞 卒業記念制作 アルバム			0 0	0 0	授業態度や感想の記述で、主体的に学習に取り組む態度を評価します。各課題の前に先生から説明される作品の解説や、表現技法を理解できているかで、知識・技能を評価します。制作前に描くアイデアスケッチで、思考・判断・表現を評価します。
/	鑑賞		作品鑑賞			0	0	
2								評価の方法
3 【備考	2 1							1 課題・学習プリント2 平常学習態度3 実技4 出席状況
	ぎ】 評価の観点は愛媛県県立学校評価の手引(愛	媛県教	育委員会)による。					

教科	芸術	科目	美術表現	単位数	2					
年組	3年 2組		教科書(発行所)				-	表現と鑑賞(開隆堂)		
月	学習内容		学習の具体的な内容			西の智思		項目		
4	オリエンテーション 絵画 鑑賞 デザイン		美の要素 鉛筆デッサン 絵巻物を読み解く 鳥獣人物戯画 絵巻物を作る		0	0 0 0	0 0 0	学習の目標 幅広い美術の制作や鑑賞を通して、自		
5 / 6	鑑賞		アイデアスケッチ 制作 作品鑑賞			0 0 0 0 0	0 0 0 0 0	分だけのものの見方で世界を見つめ、「自分なりの答え」を生み出し、それを他人と共有して、新たな問いを生み出す力を養います。		
								授業の進め方		
7										
	選択学習デザイン		ガイダンス 平面構成		0	0 0		アイデアスケッチや考えた過程を大切にして いるので、ワークシートを重要視していま す。各課題では、まずワークシートを描き、 その後制作し、できあがった作品をクラスの 全員で鑑賞します。		
9	並体		風景画 塑像		0 0 0	0 0 0 0				
/					0	0		学習の方法		
10					0 0 0 0	0 0 0 0 0		突然自分だけの表現をすることは、とても難しいので、制作に入る前に、たくさんの資料を準備しましょう。そこから自分の考えを深め、自分だけの表現活動へつなげていきます。普段生活する上でも興味のアンテナを広げましょう。		
12	鑑賞		作品鑑賞		0	0	0	評価の観点		
	Г				ı		1			
12	美術の流れ -		美術史		0		0	授業態度や感想の記述で、主体的に学習に取り組む態度を評価します。各課題の前に先生から説明される作品の解説や、表現技法を理解できているかで、知識・技能を評価します。制作前に描く		
1	デザイン 鑑賞		ポップアップカード制作 制作 作品鑑賞		0	0	0 0	アイデアンケッチで、思考・判断・表現を評価します。		
2								評価の方法		
/								1 細瑁、光羽・ポルン		
3 【備者	중]							1 課題・学習プリント 2 平常学習態度 3 実技 4 出席状況		
	評価の観点は愛媛県県立学校評価の手引(愛	·媛県教	育委員会)による。							